

株式会社 シルバーホクソン運営規定

(指定特定福祉用具販売・指定特定介護予防福祉用具販売)

(事業の目的)

第1条 この規程は、株式会社シルバーホクソンが開設する株式会社 シルバーホクソン（以下「事業所」という。）が行う指定特定福祉用具販売及び指定特定介護予防福祉用具販売（以下「指定特定福祉用具販売等」という。）の事業（以下「事業」という。）の適正な運営を確保するため、人員及び管理運営に関する事項を定め、事業所の福祉用具専門相談員が、要介護状態（介護予防にあつては要支援状態）にある利用者に対し、適正な指定特定福祉用具販売等を提供することを目的とする。

(事業の運営の方針)

第2条 事業の実施に当たっては、利用者の意思及び人格を尊重して、常に利用者の立場に立ったサービスの提供に努めるものとする。

2 指定特定福祉用具販売の事業は、利用者が要介護状態となった場合においても、利用者が可能な限りその居宅において、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、利用者の心身の状況、希望及びその置かれている環境等を踏まえた適切な特定福祉用具の選定、取付け、調整等を行い、特定福祉用具を販売することにより、利用者の日常生活上の便宜を図り、その機能訓練に資するとともに、利用者を介護する者の負担の軽減を図るものとする。

3 指定特定介護予防福祉用具販売の事業は、利用者が可能な限りその居宅において、自立した日常生活を営むことができるよう、利用者の心身の状況、希望及びその置かれている環境を踏まえた適切な指定介護予防福祉用具の選定の援助、取付け、調整等を行い、指定介護予防福祉用具を販売することにより、利用者の心身機能の維持回復を図り、もって利用者の生活機能の維持又は向上を目指すものとする。

4 事業の実施に当たっては、地域との結びつきを重視し、関係市町村、居宅介護支援事業者、地域包括支援センター及び他の居宅サービス事業者並びにその他の保健医療サービス及び福祉サービスを提供する者との密接な連携を図り、総合的なサービスの提供に努めるものとする。

(事業所の名称等)

第3条 事業を行う事業所の名称及び所在地は、次のとおりとする。

- (1) 名称 シルバーホクソン株式会社
- (2) 所在地 埼玉県川口市中青木2-22-34

(従業者の職種、員数及び職務の内容)

第4条 事業所に勤務する従業者の職種、員数及び職務の内容は次のとおりとする。

- (1) 管理者 1人

事業所の従業者の管理及び業務の管理を一元的に行うとともに、従業者に事業に関する法令等の規定を遵守させるため必要な指揮命令を行う。

- (2) 福祉用具専門相談員 2人以上

特定福祉用具販売計画（指定介護予防福祉用具販売計画）の作成、特定福祉用具及び指定介護予防福祉用具（以下「特定福祉用具」という。）の選定の援助、機能等の点検、使用方法の指導等を行い、指定特定福祉用具販売等の提供に当たる。

(営業日及び営業時間)

第5条 事業所の営業日及び営業時間は、次のとおりとする。

- (1) 営業日 月曜日から土曜日までとする。ただし8月13日から8月15日まで、12月30日から1月3日まで及び祝日を除く。
- (2) 営業時間 午前9時から午後6時までとする。

(指定特定福祉用具販売等の提供方法、取り扱う種目及び販売費用の額その他の費用の額)

第6条 指定特定福祉用具販売等の提供方法は、次のとおりとする。

- (1) 特定福祉用具販売計画(特定介護予防福祉用具販売計画)に基づき、特定福祉用具が適切に選定され、かつ使用されるよう、専門的に知識に基づき相談に応じるとともに、目録等の文書を示して特定福祉用具の機能、使用方法、販売費用の額等に関する情報を提供し、個別の特定福祉用具の販売に係る同意を得るものとする。
 - (2) 販売する特定福祉用具の機能、安全性、衛生状態等に関し、点検を行う。
 - (3) 利用者の身体の状態等に応じて特定福祉用具の調整を行うとともに、当該特定福祉用具の使用方法、使用上の留意事項等を記載した文書を利用者に交付し、十分な説明を行った上で、必要に応じて利用者に実際に当該特定福祉用具を使用させながら使用方法の指導を行う。
- 2 特定福祉用具の品目は、「厚生労働大臣が定める特定福祉用具に係る特定福祉用具の種目及び厚生労働大臣が定める特定介護予防福祉用具販売に係る特定介護予防福祉用具の種目」に基づく以下のものとする。また、品名ごとの販売費用の額は、別に定める料金表(カタログ)に記載されている額とする。
- (1) 腰掛便座
 - (2) 自動排泄処理装置の交換可能部品
 - (3) 入浴補助用具
 - (4) 簡易浴槽
 - (5) 移動用リフトのつり具の部分
- 3 その他の費用として、次に掲げる費用の額を徴収する。
- (1) 第7条の通常の事業の実施地域を越えて行う指定特定福祉用具販売等に要する交通費 実費
なお、自動車を使用した場合の交通費は、通常の事業の実施地域を越えた地点から1キロメートル当たり10円とする。
 - (2) 特定福祉用具の搬入に特別な措置が必要な場合の費用 実費
- 4 前項の費用の支払いを受ける場合には、利用者又はその家族に対して事前に文書で説明をした上で、支払いに同意する旨の文書に署名(記名押印)を受けることとする。

(通常の事業の実施地域)

第7条 通常の事業の実施地域は下記のとおりとする。

埼玉県	東京都23区	東京都23区外	神奈川県	千葉県
上尾市	足立区	稲城市	川崎市麻生区	市川市
朝霞市	荒川区	清瀬市	川崎市川崎区	浦安市
伊奈町	板橋区	国立市	川崎市幸区	柏市
入間市	江戸川区	小金井市	川崎市高津区	鎌ヶ谷市
桶川市	大田区	国分寺市	川崎市多摩区	佐倉市
春日部市	葛飾区	小平市	川崎市中原区	白井市
川口市	北区	狛江市	川崎市宮前区	千葉市稲毛区
川越市	江東区	多摩市	相模原市中央区	千葉市花見川区
川島町	品川区	調布市	相模原市南区	千葉市美浜区
越谷市	渋谷区	西東京市	座間市	流山市
さいたま市岩槻区	新宿区	東久留米市	大和市	習志野市
さいたま市浦和区	杉並区	東村山市	横浜市青葉区	野田市
さいたま市大宮区	墨田区	東大和市	横浜市旭区	船橋市
さいたま市北区	世田谷区	府中市	横浜市泉区	松戸市
さいたま市桜区	台東区	町田市	横浜市磯子区	八千代市
さいたま市中央区	中央区	三鷹市	横浜市神奈川区	四街道市
さいたま市西区	千代田区	武蔵野市	横浜市金沢区	
さいたま市緑区	豊島区		横浜市港南区	
さいたま市南区	中野区		横浜市港北区	

さいたま市見沼区	練馬区		横浜市栄区	
坂戸市	文京区		横浜市瀬谷区	
狭山市	港区		横浜市都筑区	
志木市	目黒区		横浜市鶴見区	
草加市			横浜市戸塚区	
鶴ヶ島市			横浜市中区	
所沢市			横浜市西区	
戸田市			横浜市保土ヶ谷区	
新座市			横浜市緑区	
蓮田市			横浜市南区	
富士見市				
ふじみ野市				
松伏町				
三郷市				
三芳町				
八潮市				
吉川市				
和光市				
蕨市				

(苦情処理)

第8条 指定特定福祉用具販売等の提供に係る利用者からの苦情に迅速かつ適切に対応するために、必要な措置を講じる。

- 2 提供した指定特定福祉用具販売等に関し、市町村が行う文書その他の物件の提出若しくは提示の求め又は当該市町村の職員からの質問若しくは照会に応じ及び市町村が行う調査に協力するとともに、市町村から指導又は助言を受けた場合は、当該指導又は助言に従って必要な改善を行う。
- 3 提供した指定特定福祉用具販売等に関する苦情に関して国民健康保険団体連合会が行う調査に協力するとともに、国民健康保険団体連合会から指導又は助言を受けた場合は、当該指導又は助言に従って必要な改善を行う。
- 4 提供した指定特定福祉用具販売等に関する利用者からの苦情に関して、市町村等が派遣する者が相談及び援助を行う事業その他の市町村が実施する事業に協力するよう努める。

(事故発生時における対応)

第9条 利用者に対する指定特定福祉用具販売等の提供により事故が発生した場合は、速やかに市町村、利用者の家族、介護支援専門員（介護予防にあっては地域包括支援センター）等に連絡を行うとともに、必要な措置を講じる。

- 2 前項の事故の状況及び事故に際して採った処置を記録する。
- 3 利用者に賠償すべき事故が発生した場合には、損害賠償を速やかに行う。

(虐待防止に関する事項)

第10条 事業所は、虐待の発生又はその再発を防止するため、次の各号に掲げる措置を講じるものとする。

- (1) 虐待の防止のための対策を検討する委員会を定期的開催するとともに、その結果について、従業者に周知徹底を図る。
 - (2) 虐待の防止のための指針を整備する。
 - (3) 従業者に対し、虐待の防止のための研修を定期的実施する。
 - (4) 前3号に掲げる措置を適切に実施するための担当者を置く。
- 2 事業所は、サービス提供中に、当該事業所従業者又は養護者（利用者の家族等高齢者を現に養護する者）による虐待を受けたと思われる利用者を発見した場合は、速やかに、これを市町村に通報するものとする。

(個人情報の保護)

- 第11条 利用者又はその家族の個人情報について「個人情報の保護に関する法律」及び厚生労働省が作成した「医療・介護関係事業者における個人情報の適切な取扱いのためのガイダンス」を遵守し適切な取扱いに努めるものとする。
- 2 事業所が得た利用者又はその家族の個人情報については、事業所での介護サービスの提供以外の目的では原則的に利用しないものとし、外部への情報提供については必要に応じて利用者又はその家族の同意を得るものとする。

(その他運営に関する重要事項)

- 第12条 従業者の質的向上を図るための研修の機会を次のとおり設けるものとし、また、業務体制を整備する。
- (1) 採用時研修 採用後1か月以内
- (2) 継続研修 年2回以上
- 2 従業者は、業務上知り得た利用者又はその家族の秘密を保持する。
- 3 従業者であった者に、業務上知り得た利用者又はその家族の秘密を保持させるため、従業者でなくなった後においてもこれらの秘密を保持すべき旨を、従業者との雇用契約の内容に含むものとする。
- 4 この規程に定める事項のほか、運営に関する重要事項は株式会社シルバーホクソン代表取締役と事業所の管理者との協議に基づいて定めるものとする。

附 則

- この規定は、平成18年 4月 1日から施行する。
- この規定は、平成19年 3月18日から施行する。
- この規定は、平成19年 9月18日から施行する。
- この規定は、平成20年 7月18日から施行する。
- この規定は、平成23年 7月 1日から施行する。
- この規定は、平成24年 4月 1日から施行する。
- この規定は、平成26年 1月10日から施行する。
- この規定は、平成27年12月 1日から施行する。
- この規定は、平成28年 7月 1日から施行する。
- この規定は、平成28年10月 3日から施行する。
- この規定は、平成29年12月22日から施行する。
- この規定は、令和 6年 3月 1日から施行する。(虐待防止に関する事項を追加)